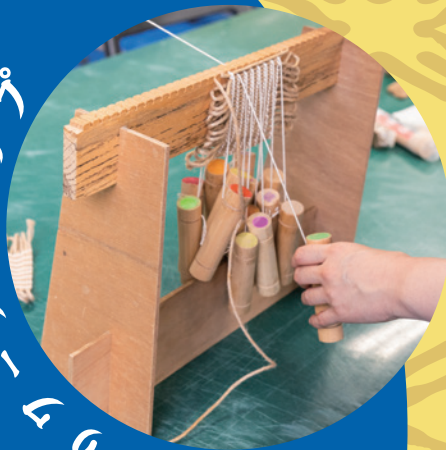


考古学セミナー

「編布(あんぎん)」と「土偶」



編布の体験

第1回 2024

10/26(土)

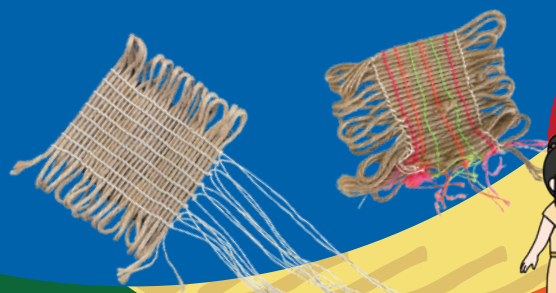
13:30~15:30

縄文時代の布「編布(あんぎん)」と衣服の歴史

講話と体験(編布のコースターづくり)

講師: 篠原 浩恵

(埋蔵文化財センター普及活用課長)



両日
親子で参加
できます!



参加費

各回 500円

※当日会場にて集金いたします。

定員

各回 30名(先着)

第2回 2024

11/17(日)

13:30~15:30

「土偶」が語る縄文時代

講話と体験(土偶づくり)

講師: 江原 英

(埋蔵文化財センター 調査研究課長)



土偶の体験



会場のご案内

栃木県総合文化センター

3階 特別会議室

栃木県宇都宮市本町1-8



※ 詳細は裏面をご確認ください

主催: 公益財団法人とちぎ未来づくり財団

令和6年度マロニエ文化学びの広場

考古学セミナー「編布(あんぎん)」と「土偶」

会場：栃木県総合文化センター 3F 特別会議室
(栃木県宇都宮市本町1-8)

第1回 縄文時代の布「編布(あんぎん)」と衣服の歴史

講師：篠原 浩恵 ((公財)とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター 普及活用課長)

日時：令和6(2024)年10月26日(土)13:30～15:30

講話／前半約50分 体験(編布のコースターづくり)／後半約60分

編布とは、民具として現代に伝わる布で、縄文時代以来の布である可能性が指摘されています。なぜ編布が「縄文時代の布」とされるのか、何に使われたのかを考えます。併せて、布や布と深く関わる服装の変遷について概観します。

第2回 「土偶」が語る縄文時代

講師：江原 英 ((公財)とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター 調査研究課長)

日時：令和6(2024)年11月17日(日)13:30～15:30

講話／前半約50分 体験(土偶づくり)／後半約60分

土偶は土製の人形(ひとがた)で縄文時代を代表する遺物です。妊娠した女性を表現したものが多く、安産や子孫繁栄を祈るために作られたものと考えられています。時期や地域により、いくつかの種類があり、それらの特徴や作り方について概観します。

参加費：各回500円 ※当日会場にて集金いたします。

定員：各回30名(先着)

申込方法：①～③いずれかの方法でお申し込みください。

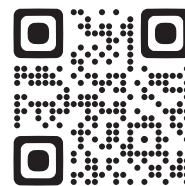
お申込後やむを得ずキャンセルされる場合はお早めにご連絡ください。

① メール tmf@tmf.or.jp

② 電話 028-643-1011 受付時間／平日9:00～17:00

③ FAX 028-650-5284 ※下記申込書に必要事項を記入の上ご送付願います。

メール申込はこちらから



● 参加申込書 令和6年度 考古学セミナー「編布(あんぎん)」と「土偶」

フリガナ氏名		受講歴	回目
住所 DM希望者のみ記入		電話番号 必須	
参加希望日 参加希望日に○	第1回 10/26(土) ● 第2回 11/17(日)	メールアドレス DM希望者のみ記入	

主催・問い合わせ先：公益財団法人とちぎ未来づくり財団 本部事務局 総務企画課
栃木県宇都宮市本町1-8 (栃木県総合文化センター内)
Tel: 028-643-1011 Fax: 028-650-5284 受付時間／平日9:00～17:00



ホームページ